令和5年1月30日

大谷地区交流促進事業

大谷地区森の家プロジェクト

大谷地区の概要

- 松江市玉湯町大谷地区
- 世帯数　約150世帯

(2022年11月現在：松江市統計情報データベース)

- 構成自治会　7地区
- JR玉造温泉駅から車で20分程の位置
- 2021年3月に大谷小学校が閉校
- 生物が生息しやすい優れた環境が地域資源

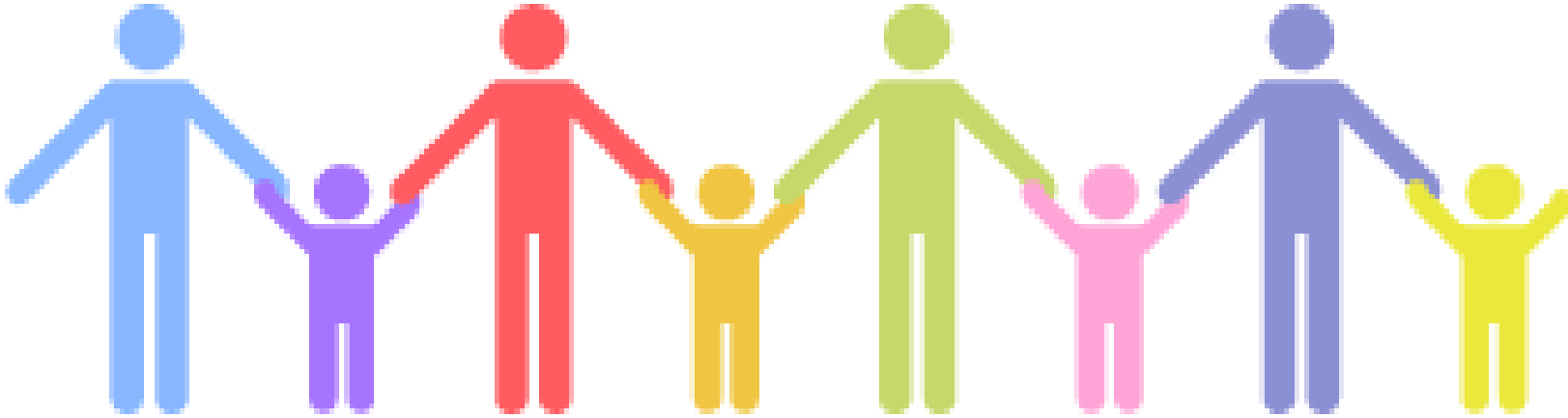
森の家プロジェクトの紹介

・R3.12月:以前まで、ほぼ繋がりのなかった地区内外のメンバー計6名で結成。

・R4.3月に出雲東郵便局長会発案の原木椎茸植菌体験会を共同開催した事。

・R4.6月には旧大谷小学校、日速神社を活用し、竹灯籠企画を開催。

【大谷地区の100年未来像】



～地区内外の大人が子供に対して、
見守り育てていく『地域』にする～

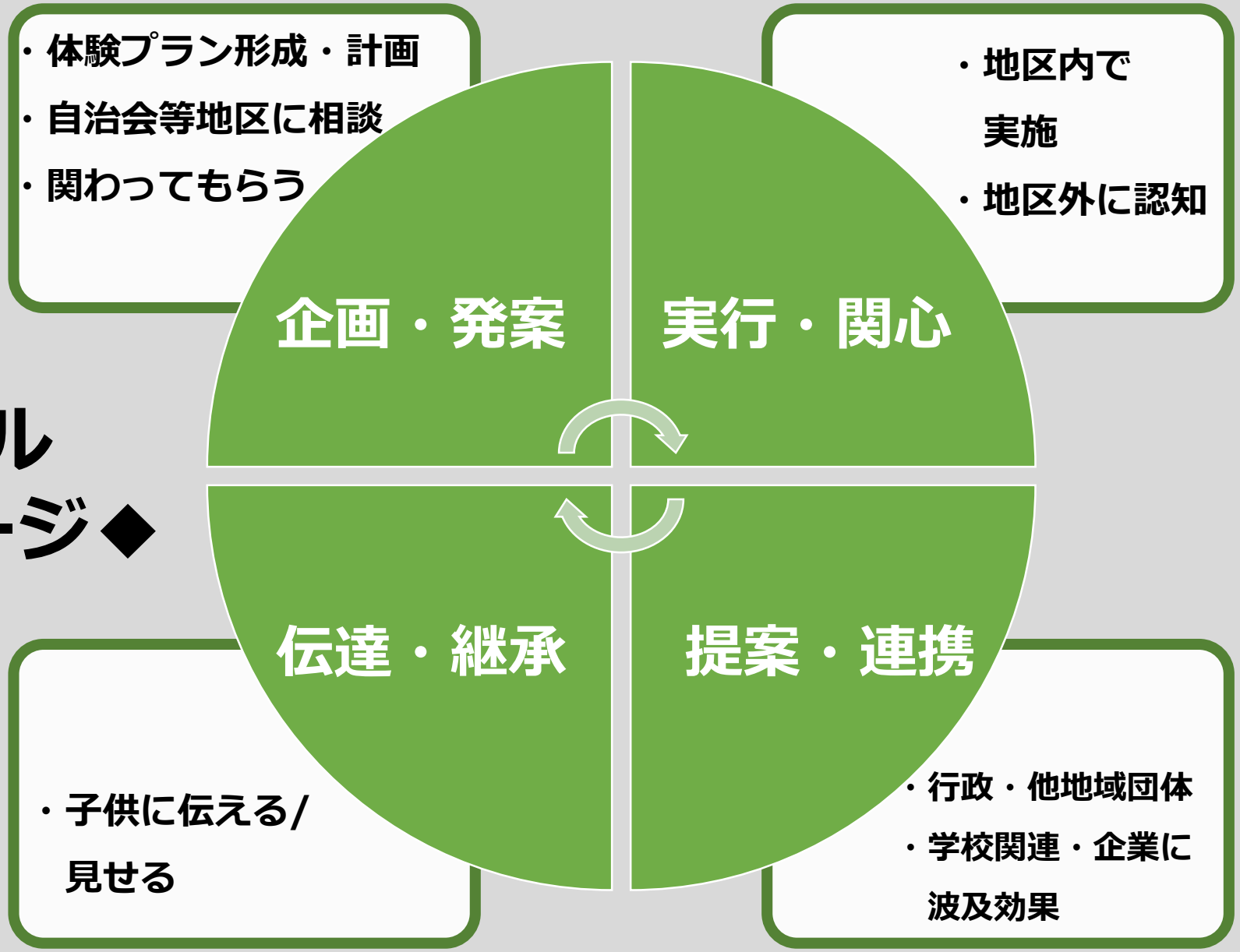
事業概要

内容：地元産物を使った体験型コミュニティ事業

“大谷モデル”の形成

目的：大人が『やりたい事』を、子供に見せる事で
子供も『やりたい事』を出来る展開にしていく
背景：大谷小学校が廃校になり、
子供だけでなく大人の交流の場も無くなった事。

大谷モデル
◆循環イメージ◆



成果事例報告

- ◆R4.6月◆『竹灯籠企画』を開催

- 企画案◆地区住民を中心に巻き込む
- (口コミ効果等)地区外の方も参加
- 灯籠ワークショップ動員数　:約60名
- 日速神社ライトアップ動員数 :約200名

→【今年も6月に開催予定】

【抱える困りごと①】

スタッフ不足

【抱える困りごと②】

ミーティング

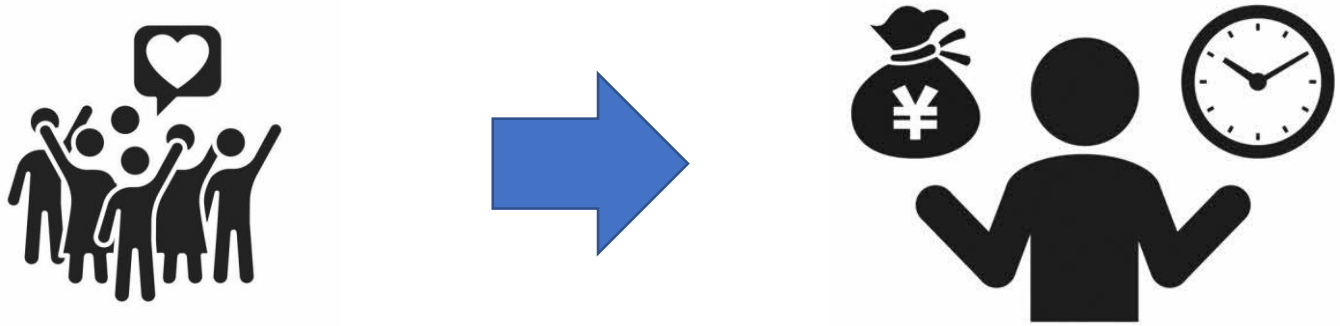
資材保管場所

活動拠点問題

【抱える困りごと③】

★人件費等運営資金が必要。

★ボランティアではなく、事業として回していく為。



継続運営の資金調達方法

ご清聴ありがとうございました

We Are “大谷地区森の家プロジェクト”